

令和7年度補正予算「省エネルギー投資促進・需要構造転換支援事業費補助金」
「工場・事業場型」における『先進設備・システム』公開用概要書

製造会社情報（コンソーシアムの場合は、幹事社）

設備/システム名	再生油/副生油焚き蒸気ボイラ
製品種別	エネルギー負荷設備(本体設備)
型番	MP-8 ■■R
会社名	株式会社ヒラカワ
本社所在地	大阪市北区大淀北1-9-5
会社WEBページURL	https://www.hirakawag.co.jp/
製品紹介ページURL	https://www.hirakawag.co.jp/product/80/

製品についてのお問い合わせ先

連絡先	株式会社ヒラカワ 営業部 セールスエンジニアリンググループ 大阪市北区大淀北1-9-5 TEL：06-6453-5161
-----	---

登録設備情報

導入可能な主な業種・分野	E. 製造業		
導入対象となる分野・プロセス	蒸気発生プロセス		
導入事例の省エネ量（原油換算：k1）		-19.0	k1/年
工場・事業場当たりの想定省エネ率		—	%
設備・システム当たりの想定省エネ率		-1.0	%
導入事例における費用対効果（年間）		—	k1/千万円
1台又は1式当たりの想定導入価格（参考）		90,000,000	円
保守・メンテナンス等の年間ランニング費用		1,000,000	円/年

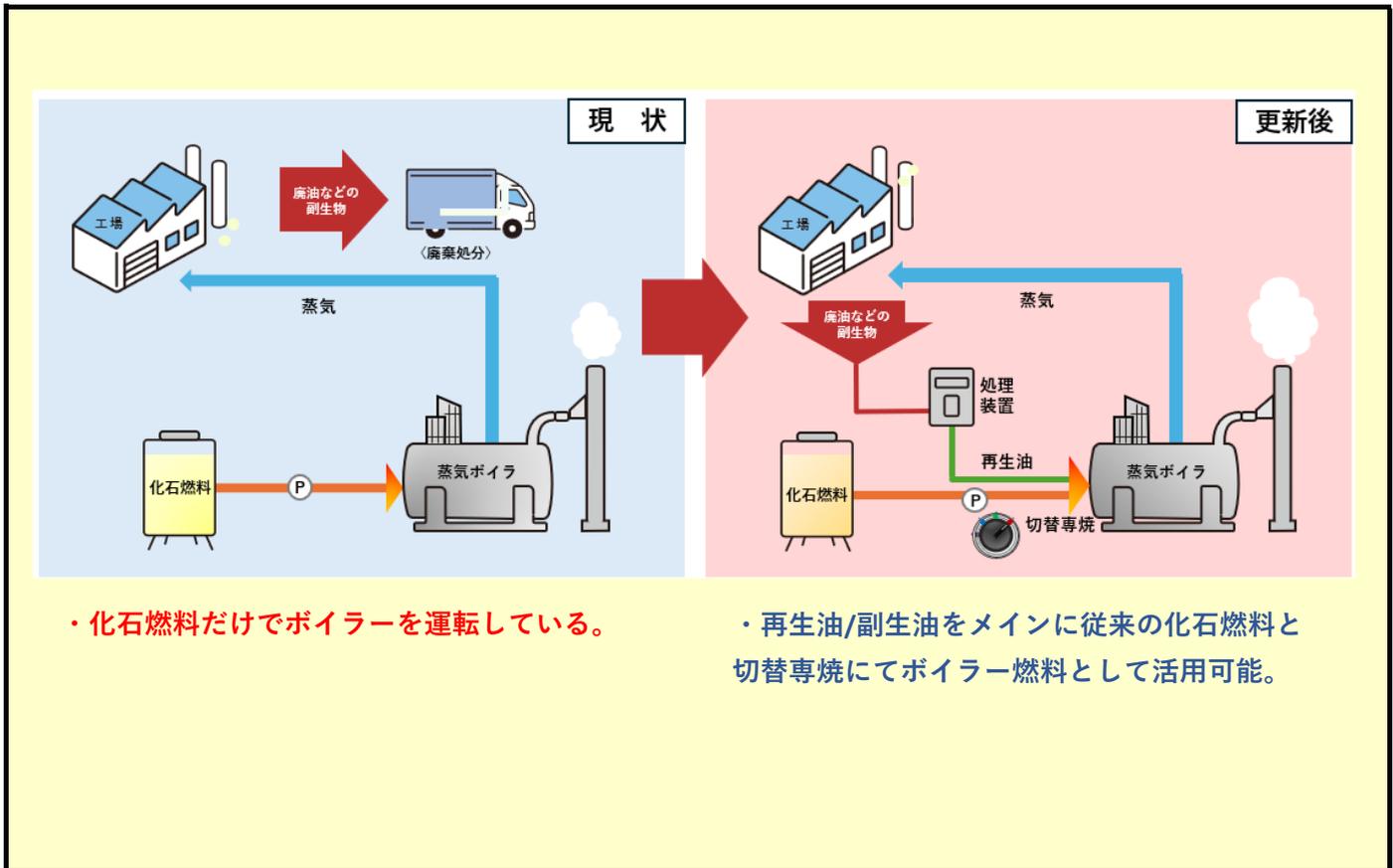
製品・システムの概要

<p>本設備は工場・事業場において使用される一般的に使用できる蒸気ボイラでありながら、従来の化石燃料から再生油や廃油、副生油などの未利用エネルギーを使用することにより非化石エネルギーへの転換を図れる設備である。 燃焼装置は動粘度や発熱量の異なる幅広い燃料に対応することができ、自社では切替選択スイッチ手法により重油と再生油、副生油等を手間暇およびコストが掛かるバーナ取替作業無しに切り替えることができる為、いずれかの燃料調達が困難となった場合も工場の操業に与える影響は少ない。 MP-800Rシリーズは801～815、換算蒸発量：1,200kg/h～18,000kg/hの機種で対応可能です。 本設備により化石燃料使用量の削減、非化石エネルギーへの転換を進めていくことで工場・事業場の省エネおよびカーボンニュートラルを推進していくことが可能となる。</p>
--

先進性についての説明

<p>本設備は従来の化石燃料を燃焼して蒸気を発生させていた蒸気ボイラで、再生油や副生油を使用する場合バーナを抜き差ししたり、部品を交換する作業を無くし、自社のスイッチ切替と燃料切替バルブ操作（スイッチによる自動化も可能）のみで再生油や副生油の燃焼に切り替えることが可能である。各燃料に応じた空燃比制御もプログラミングした制御装置で行っている。 本設備を導入することにより再生油/副生油の使用を促進して非化石エネルギーへの転換を進め、二酸化炭素削減さらにはカーボンニュートラルの推進に貢献することができる。</p>
--

製品・システムの概要・イメージ図



導入事例の概要・イメージ図

業種・分野	水産加工業	対象設備・プロセス	蒸気発生プロセス
蒸気ボイラ		換算蒸発量：12,000kg/h	最高使用圧力：0.98MPa
ほとんど再生油に切替えたものを導入		エネルギー使用量	重油/再生油切替専焼 再生油：90% A重油：10%

燃料切替スイッチ

※登録設備情報の想定導入価格(参考)はこの導入事例のものです。

※バイオマス系の廃油の場合は実際の発熱量での原油換算となります。